

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	飯伊市町村教育委員会連絡協議会参画事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	学校教育課		包含する細々目	1	10	1	2	10	3	1,432
政策	9 市民と共に進める行政経営											
施策	93 良質な行政サービスの提供											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議								
		事業期間		年度～	年度	関連計画 条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯伊市町村教育委員会		現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	情報を共有し、方針の方向性を合わせる		18目標	最終目標		
			18実績	19目標	↑ 最終目標達成年度	
		23目標	23実績			
		18目標	最終目標			
		18実績	19目標	↑ 最終目標達成年度		
		23目標	23実績			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	協議会運営に係る負担金の支出 <参考> 細々目名: 飯伊市町村教育委員会連絡協議会負担金 飯伊地区15市町村教育委員会による連絡協議会の運営のための負担金支出 連絡協議会では飯伊地域の教育課題について情報を共有し、協議を行うとともに、県教育委員会との連絡調整を行っている。 具体的な活動 総会、協議会、理事会の開催、県教育委員会との連絡会の開催、研修会の開催、学校教育及び生涯学習に関する研究委員会の開催	総会1回、理事会10回開催、県教育委員会との連絡会10回開催、研究委員会の開催、教育委員研修会1回、教育長部会研修会開催 18年度は、協議会全体で家庭教育の推進を重点的に取り組み、それぞれの市町村において、家庭教育の充実を図るための取組を実施した。	総会 理事会 県教育委員会との連絡会 研究委員会 教育委員研修会 教育長部会研修会	1 10 10 3 1 2
	18年度の実績			
	19年度計画	総会開催、理事会開催、県教育委員会との連絡会開催、教育委員研修会開催、教育長部会研修会開催	総会 理事会 県教育委員会との連絡会 教育委員研修会 教育長部会研修会	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	1,392	1,432
事業費計(A)	1,392	1,432	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	1,392	1,432

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市役所が行うサービスが的確に提供される。	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合	現状値	61.5	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	75
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価)	結びつく	(その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価)	余地がある	(その理由)	
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価)	必要性がない	(その理由)		有効性 評価	廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価)	影響あり	(その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価)	必要性がない	(その理由)			他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価)	類似事業なし	(類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価)	必要ある	(その理由)		効率的 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価)	可能	(その理由)
				公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価)	妥当である	(受益者とその理由)		

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断		(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	